

産業競争力強化対策特別委員会記録

1 会議の日時	令和4年10月5日 開 会 午前 9 時 58 分 閉 会 午前 10 時 53 分	
2 会議の場所	企画経済委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 岩井 豊太郎 副委員長 田中 勝士 委員 伊藤 正博 渡辺 嘉山 小川 恒雄 松村 多美夫 佐藤 武彦 広瀬 修 恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	主 査 柘植 健太 主 事 熊澤 彩乃	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
1 産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況	
2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○岩井豊太郎委員長

ただいまから、産業競争力強化対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、昨年3月に知事へ提言した産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況について、執行部の説明を聴取するため、開催したものである。今回のフォローアップを通して、必要な施策を令和5年度当初予算へ反映させるなど、より一層の県内産業の競争力強化を図られるようお願いする。委員の皆様におかれては、執行部の対応状況に関して、積極的に意見をいただくようお願いする。

なお、本日の執行部の説明員の出席については、昨年3月の中間報告の提言内容を担当する部局に限って、出席いただいているので、ご承知おき願う。

それでは、産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況について説明をお願いします。

質疑は説明終了後をお願いします。

（執行部挨拶 崎浦商工労働部長）

（執行部説明 富田商工労働部次長）

○岩井豊太郎委員長

ただいまの説明について、質疑はないか。

○小川恒雄委員

対応状況として報告のあった事業の中でも特に効果があった事例は。

○中谷航空宇宙産業課長

航空宇宙分野など先端技術を活用できる人材の育成について、昨年度設立した「ぎふ宇宙プロジェクト研究会」の中で、岐阜大学と連携し、県内の高校生を対象にオンラインと対面の両方で講座を開催している。

先日には、県内の高校生約70名が、JAXAの様々な施設の見学や、航空宇宙分野に携わる研究者の方々と東京大学でミーティングを実施するなど、進学や就職に向けて航空宇宙分野での活躍に向けたビジョンが描けたことは、大きな効果の1つと考えている。

○広瀬修委員

「ぎふスタートアップカフェ」の参加者は、起業に向けた具体的な事業を考えている方か。

○中垣内商業・金融課長

参加者の中には、看護関係やサービス業で起業したいという学生等、具体的に考えている方もいた。

○佐藤武彦委員

今後は、事業効果が客観的に分かる生産性向上や高付加価値化などの指標を設定して、事業効果を検証してほしい。

○山内房壽委員

人材不足等により機械化が進んでいく中で、先端技術を扱える人材の育成に力を入れるべきであると考えているが、高校生の人材育成についてどのように取り組んでいるのか。

○下野学校支援課長

昨年度、国の補助事業であるスマート専門高校整備事業において、学校ごとに各地域に求められる人材を育成するために必要な最先端の機器等を導入した。それらを授業等で活用し、地域に根差した、高い専門性を持った高校生の育成を進めているところである。

○山内房壽委員

幅広く、教育の中で人材育成を進めていってほしい。

○伊藤正博委員

農業のドローン活用に関する取組について、機体は県が購入するのか。

○若山農村振興課長

カワウ対策として、県漁業協同組合連合会が県の補助金を活用し、機体を購入するもの。今年度4台のドローンを購入する予定。

○伊藤正博委員

限られた予算を有効に活用するため、県所有のドローンを部局横断的に使用できるように検討してほしい。

○小川恒雄委員

ドローンを活用したカワウ対策は、一向に効果が出ていないと感じている。

○若山農村振興課長

昨年度、専門事業者などを加えた検討会を立ち上げ、ドローンの活用について検討し、カワウの生息調査や追い払いに対して、ドローンの活用は有効であるとの結論を得ている。

今後は、県漁業協同組合連合会が主体となり、各漁業協同組合に対する操作研修会を開催するなど、ドローンを活用したカワウ対策を推進することとしている。県としてもこの取組を支援していきたい。

○小川恒雄委員

ドローンを活用して薬剤をカワウの卵へ散布する対策も考えられていたが、法律の規制があり、実用化できていない。法律の適用除外についても検討する必要があるのではないかと。

○若山農村振興課長

卵への流動パラフィンの散布については、県漁業協同組合連合会が今年度、実証を行ったが様々な課題があった。法律の観点も踏まえつつ、引き続き効果的な対策について検討していきたい。

○小川恒雄委員

銃で駆除することが一番効果的であるが、必ずしも銃で駆除できる場所に巣がかけられるわけではない。難しいことは理解できるが、引き続き検討していただき、カワウ対策を徹底的に実施してほしい。

○田中勝士副委員長

中小企業等スマートワーク推進補助金の内容は。

○板津産業デジタル推進課長

中小企業（製造業）の生産性向上に資する設備投資に補助するもの。生産性の向上や残業時間の縮減等の具体的な効果を審査して交付している。

○田中勝士副委員長

具体的な事例と成果は。

○板津産業デジタル推進課長

生産管理システムを導入することにより、生産工程を何日か圧縮することができた事例や、染色業において廃液をモニタリングすることにより、無人で適切に管理できるようになった事例等がある。

○田中勝士副委員長

個々の事業を掘り下げていくのは難しいことは理解しているが、上手くいかなかった事例も含めて、事業の実績に対して更に踏み込んだ成果が見えてこない、次年度以降の事業に活かさない。今後、資料の内容や議論の仕方を検討していく必要があると考える。

○崎浦商工労働部長

D Xや脱炭素など、今後中小企業が取り組むべき大きな課題に対して、事業者からは「何をやってい

いか分からない」との声が多い中、セミナーの開催や相談窓口の設置などの支援により、少しずつ成果が出てきている。今後は、県内企業に成功事例を提示していくことで、更に取り組が進むことを期待する。

○岩井豊太郎委員長

この特別委員会での議論や視察結果が、県内企業の今後の取組に活かせるとよい。

○岩井豊太郎委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況の説明聴取を終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はないか。

また、執行部の方、何かないか。

(意見なし)

○岩井豊太郎委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

産業競争力強化対策特別委員会 配席図

令和4年10月5日(水)午前10時～
企画経済委員会室

出入口

杉山 技術検査課 建設業企画監	大橋 技術検査課 建設技術企画監	斉藤 地域福祉課 福祉人材対策監	深見 高齢福祉課 高齢者生きがい づくり推進監	一柳 障害福祉課 社会参加推進 企画監	番場 商工・エネルギー政策課 エネルギー対策監兼 亜炭鉱廃抗対策室長
後藤 農政課 スマート農業推進室長	山田 産業技術課 成長産業企画監兼 航空宇宙産業課 航空宇宙産業連携監	中谷 航空宇宙産業課長	久野 地域産業課長	下野 学校支援課長	
小原 技術検査課長	長尾 公共建築課長	中垣内 商業・金融課長	広瀬 労働雇用課長	渡辺 産業人材課長	
若山 農村振興課長兼 鳥獣害対策室長	長谷川 森林経営課長	伊藤 県産材流通課長	板津 産業デジタル 推進課長	郷 産業技術課長	
幸畑 農政課長	兼松 商工労働部次長	崎浦 商工労働部長	富田 商工労働部次長	田口 商工・エネルギー 政策課長	

出入口

出入口

